

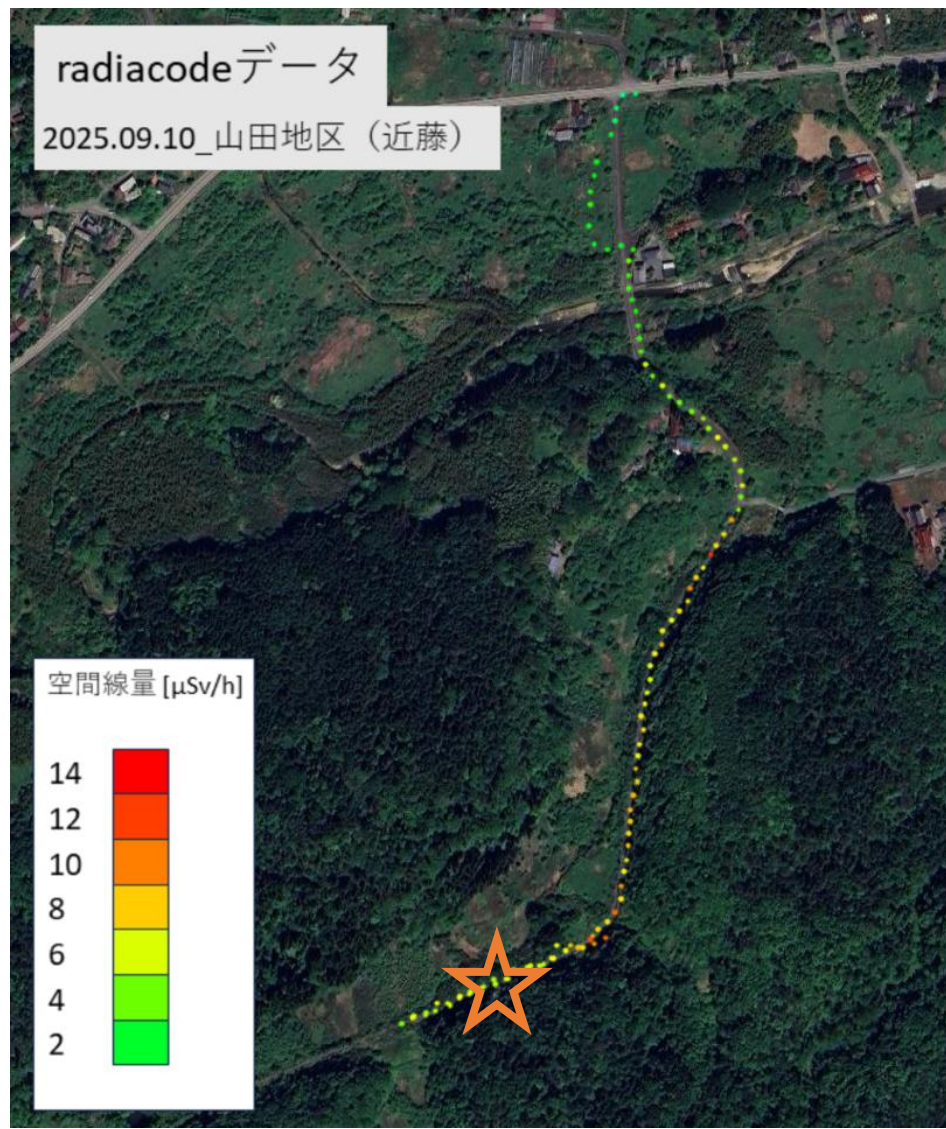
双葉B班

舘山、新美、五百蔵
近藤、蕨野



試料採取の背景

- 山田地区



- 空間線量率が高い ($7.6 \mu\text{Sv/h}$)
- 同じ木から、IP、葉、土壌、枝、実を取ることができそうだった
→どこに吸収されやすいのか？
比較してみたい

栗の処理

1. 鬼皮と実を分ける

乾燥させたのち、ナイフを用いて分ける。

2. ミキサーで細かく粉砕

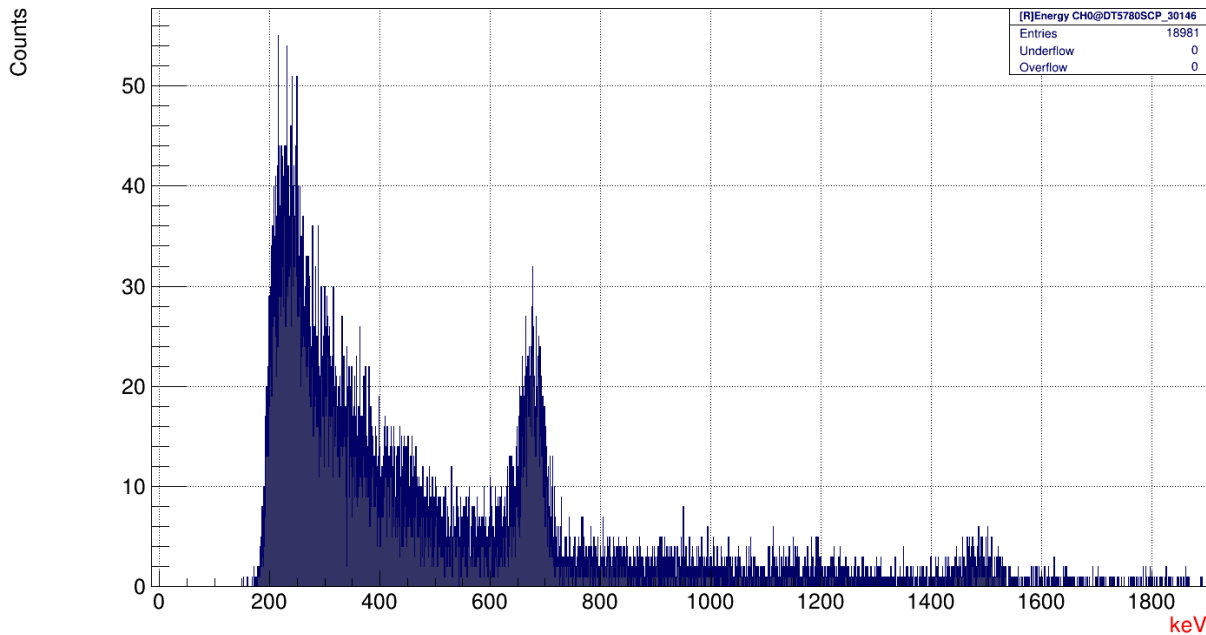
鬼皮と実をそれぞれ粉砕し容器に入れる。



測定結果と考察

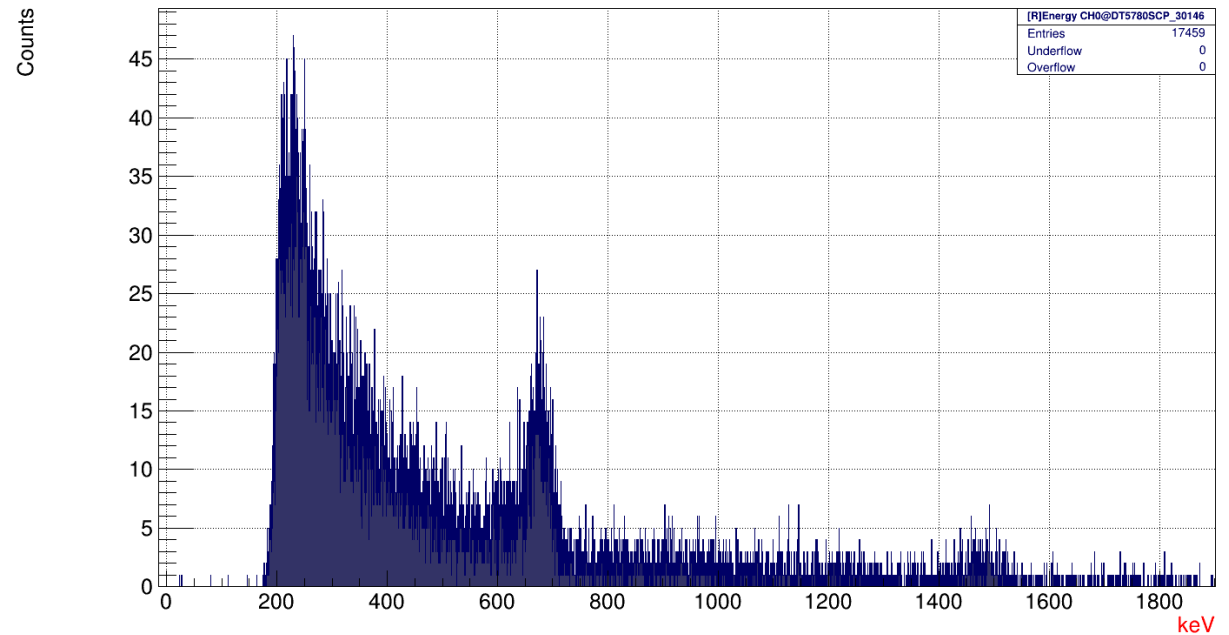
- 栗の実

$$S \pm \Delta S = 9342 \pm 323 \text{ [Bq/kg]}$$



- 栗の鬼皮

$$S \pm \Delta S = 10128 \pm 475 \text{ [Bq/kg]}$$



測定結果と考察

	放射能濃度 [Bq/kg]
5 cm土壌	99032 ± 620
栗の実	9342 ± 323
鬼皮	10128 ± 475
栗の葉	3669 ± 165
栗の枝	3567 ± 105

測定結果と考察

放射能濃度 [Bq/kg]

5 cm土壌	99032 ± 620
--------	-------------

栗の実	9342 ± 323
-----	------------

鬼皮	10128 ± 475
----	-------------

栗の葉	3669 ± 165
-----	------------

栗の枝	3567 ± 105
-----	------------

考察

実・鬼皮の放射能濃度

∨

葉・枝の放射能濃度

栗の実にはKが多く含まれる

→Csを吸収しやすいのでは

議論で話した内容

成果発表会のお題「福島の前→未来」を考へるうえで、
外部の人間と復興の関わりについてぶつかった。

- これは「外部の人間だから」と言っテ「突き放している」わけではない
- 結局外部だから、「影響力がない」一学生でしかない
「当事者にはなれない」経験していない、住んでいない
- 復興とは何かや個人ができることや関係することは、
個人の価値観や立場による



それらを踏まえて、答へも人によって違ひ、直接的に何かできる変わるわけでもないのに机上の空論と分かつて議論する意味は??

議論で話した内容

議論する意味って何だろう

- 話し合うことで直接的に何かを変えられるわけではない。
- 今年度参加者約200人に対して、影響を及ぼしたことが成果。
- 影響力の限界。2016～延べ2000人ぐらいに影響を及ぼしたのが成果。
- 話し合うことが何にもならないわけではないが、内部の人間になりきれはしない。

内部の民主主義での決定を支持する意識を外部がもつことが必要

(個人により強弱はあるが、その強弱を認め合いながら少しでも持っていてもらう)

議論で話した内容

内部の民主主義での決定を外部が支持するためには

- 忘れさせないこと、関心を持たせること
- そのためには母体数の確保や接点の機会として「教育」が効果的
- 効果的→多数にむけて一斉にできる、興味がない層も巻き込める、先入観？がない子どもたち
- ただ、教育→期待した結果が出るとは限らない。受け取り方はさまざまで、全員に伝わるかはわからない。様々な意見が出る（価値観の対立）。

結局、答えは「各人の価値観」という流れになり堂々巡りに…

教育では母体数を増やしていくことが大事ではないか

議論で話した内容

教育をする上で、安全だと「刷り込む」ことは安全神話につながる

- 盲目的に安全であると言うのは間違い
- 絶対安全だと言いきってしまうと安全神話になりかねない
- 「事実」のみを言うべき

